

## 新様式の木村用の用紙及び記入例 必要な添付資料

新条例の「土石発生元証明書」の用紙です。

記載内容はほとんど今までと変わりません。添付書類も同じです。

公共工事ならば発注元の担当者が作成したものをそのままくだされば結構です。

添付書類は今まで通りですが、なるべく簡素化したいと考えていて、利用状況が山林・宅地・田畑またはその隣接の道路等、あきらかに特定有害物質の取り扱いがなければヒヤリングで大丈夫です。（今まではお寺の墓地など）

ご不明な点はお問い合わせくださいませ。

航空写真も謄本もいらないのでとても簡単！ですが、「地図」はお忘れなく！

追伸、公共工事なのに業者様が勘違いをして自社排出で書類を作り直さなければいけないと思っているケースが見受けられましたので、ご注意くださいませ。

よろしくお願いいたします。

また、実際の搬入業者や処分料金の請求先については都度確認させていただきたくお願い申し上げます。

~~~~~

@様式第4号（第9条関係）

@参考様式第1号

@参考様式第2号

@添付資料

1. 位置図（場所が特定できる地図であれば何でもよい）
2. 次のうちのいずれか〔☆特定有害物質の取り扱いがない場合〕

☆登記事項証明書（土地謄本コピー可）

☆国土地理院の航空写真の過去と現在のもの（各々に撮影年代がわかるように）

☆ヒヤリングの場合はその旨を参考様式第1号の4調査方法の欄に記載

★特定有害物質の取り扱いがあった場合（ガソリンスタンドや、工場だった場合）  
は土壌試験をした計量証明書

# 提出方法は今までと同じです。専用アドレス [zando@kimura-doboku.co.jp](mailto:zando@kimura-doboku.co.jp)